



学校だより

おりひがっこ

〒 807-0824

八幡西区光明1-2-1

TEL 602-2621 奥田 淳一

子どもたち一人一人が笑顔で過ごす学校をめざして



生活習慣は育ちの基礎…

基本的な生活習慣と呼ばれる食事、排泄、睡眠、清潔、着脱衣、お手伝い、あいさつといった習慣が年齢相応にきちんと身に付いているということは、子どもの心と体の健やかな育ちにとってとても大切なことです。現代の子どもの深刻な問題として指摘されている「学ぶ意欲」「自尊心」「規範意識」「体力等」の低下の一因に基本的な生活習慣の乱れがあると考えられています。

(教育力向上福岡県民運動 ワンポイント・リーフレットより)

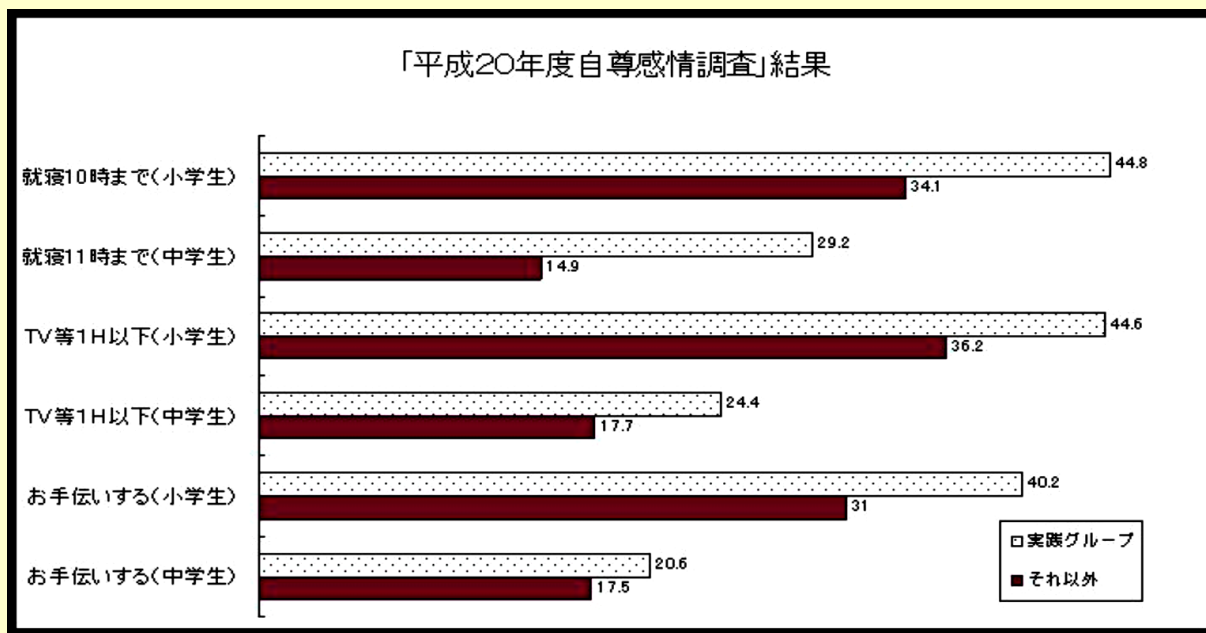
メセー 1

望ましい「生活習慣」は「自尊心」を高める方法の一つです！

生活習慣と自尊心の関係を考えてみましょう。自尊心とは「自分自身を基本的に価値あるものとする感覚」のことです。自分に自信をもち、自己を肯定的に捉えることができるということは、子どもが意欲的に生活し、自分の可能性を伸ばしていくうえでとても大切なことです。

福岡県が平成20年に行った自尊心調査では、生活習慣が望ましいグループとそれ以外のグループの子ども達の自尊心の高い子の割合を比較したところ、下の図のような違いがみられました。これを見ると、自尊心の高い子の割合は、前者のほうが明らかに高くなっています。

また、生活習慣は学力とも密接な関係があります。



メセー 2

生活習慣づくりは幼児期から始めましょう！

生活習慣は、大きくなれば自然に身に付くというものではありません。親の正しいしつけによって形成されます。「鉄は熱いうちに打て」という諺がありますが、幼児期からしつけていき、遅くとも9歳頃までには身に付けさせるようにしたいものです。時機を逸すると簡単なこともできなくなり、心身の発達に望ましくない影響が出てくるからです。



メセー 3

親の忍耐力・姿勢が大事です！

生活習慣は、「〇〇をください！」と口先だけで言うことができるようになるものではありません。例えば、早く寝るためには家の中が静かであることも必要です。親が子どものために環境を整えるとともに、子どもをリードし、言われなくても自発的にできるようになるまで同じことを毎日くり返すことが大切です。その意味では、親の忍耐力が問われます。また、子どもは「親の後ろ姿を見て育つ」という言葉があるように、親の生活態度・習慣が子どもの生活習慣の形成に大きな影響を与えます。親自身も自分の生活を見直してみましょう。

11月の行事予定

1 日 (土) 音楽会 (保護者観覧)	13 日 (木) 読み聞かせ(つくしんぼ)
3 日 (月) 文化の日	就学時健康診断
4 日 (火) 職員交通指導	14 日 (金) 読み聞かせ(パレット)
5 日 (水) 連合音楽会 4年	21 日 (金) 親子ふれあい活動 2年
心と体の何でも相談日	23 日 (日) 勤労感謝の日
1年生保幼小交流会	24 日 (月) 振替休日
6 日 (木) 親子ふれあい活動 6年	27 日 (木) 読み聞かせ(つくしんぼ)
委員会活動	クラブ活動
8 日 (土) 折東祭	28 日 (金) 読み聞かせ(パレット)
10 日 (月) EMだんご活動 4年	

《12月の主な行事予定》

17 日 (水) 天文学習 4年	22 日 (月) 大掃除
18 日 (木) 個人懇談会 1	24 日 (水) 終業式
19 日 (木) 個人懇談会 2	